

福井県アンテナショップ 今後の方向性 (案) について

		南青山店	銀座 (周辺) 店
現在	機能	<p><b>位置付け</b> 総合的機能を持つ主たるアンテナショップ  延床面積：1000㎡ (1F:480㎡、2F:520㎡)  【県の支出】家賃1.1億円 【県の収入】地代1.1億円 転貸料1千万円</p> <p>商業施設 (東急不動産所有) を賃借 (20年)</p> <p>ビジネス支援 (多目的ホール・貸ブース)      観光案内 (専門スタッフなし)</p> <p>物販 (食品・工芸品)      飲食店 (和) (県内企業に転貸)</p> <p>南青山 (県有地) … 東急不動産に賃貸 (20年)</p>	<p><b>位置付け</b> 食に特化したサテライトショップ  延床面積：219㎡ (1F:98㎡、5Fバックヤード等：121㎡)  【県の支出】家賃3千万円 【県の収入】なし</p> <p>民間オフィスビルを賃借</p> <p>物販 (食品)      イートイン (8席)</p> <p>銀座1丁目</p>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者、店舗売上ともに、サテライトである銀座店を下回る。</li> <li>観光案内機能が十分な役割を果たせていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗面積が狭く、品揃えの拡充やレジの増設が困難</li> <li>好調なイートインのスペースが狭く、8席しか確保できない。</li> <li>集客力の高い地域に立地しながらも、観光案内等の情報発信力が弱い。</li> </ul>

現建物を引き続き使用 (10年程度)

移転も視野に増床

今後の方向性	機能のイメージ	<p><b>位置付け</b> 福井の食の魅力を伝えるレストラン + ビジネス支援施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井県産の食材や食器等を用いた上質な料理により、深く福井の魅力を伝える『福井の食体験ゾーン』</li> <li>県内企業等の首都圏での活動を支援する『ビジネス支援ゾーン』</li> </ul> <p>商業施設 (東急不動産所有) を賃借 (10年)</p> <p>ビジネス支援ゾーン (多目的ホール、貸ブース、商談スペース等)</p> <p>福井の食体験ゾーン (県内飲食店等への転貸によるレストラン)</p> <p>南青山 (県有地) … 東急不動産に賃貸 (10年)</p>	<p><b>位置付け</b> ふらっと立ち寄れて、買い物や手軽な食事により福井ファンを増やす店舗</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特産品や工芸品を買う、おろしそばやソースカツ丼などのメニューをイートインで手軽に味わうことにより、福井の魅力に触れる『物販ゾーン』</li> <li>福井の魅力コンシェルジュを配置した「観光・移住案内」と、工芸品ワークショップやそば打ち等を体験できる「イベントスペース」で構成する『観光・催事ゾーン』</li> </ul> <p>観光・催事ゾーン (観光・移住案内、イベントスペース)</p> <p>物販ゾーン (食品・工芸品、イートイン)</p> <p>銀座・日本橋エリア</p>
	留意点	<p>(※) 想定      両館の運営に要する県費は、現在の水準を維持しながら再構築 (初期投資を除く)</p> <p>地代のアップ・転貸面積の増等      収入の増加      =      増床による家賃の増等      支出の増加</p>	

## 福井県アンテナショップあり方検討委員会での主な意見

### 1 検討委員会開催日

第1回 令和元年11月26日

第2回 令和2年 1月29日

### 2 主な意見

#### (1) 店舗体制

- ・2館体制を維持し、役割や仕組みを変えて機能を分担するとよい。

#### (2) アンテナショップの役割

- ・モノを売ると同時に、福井と東京の人の交流拠点とするべき。
- ・売上ばかりを重視するのではなく、「福井の暮らし・観光・産業を感じられる場所」をキーワードに再構築するとよい。
- ・首都圏の福井ファンにPRし、福井に足を運んでもらうことが重要な役割

#### ① 南青山店

- ・都心の住宅地という立地特性に合わせて、ターゲットを絞る必要がある。
- ・福井の「素敵なイメージ」の発信、「食や伝統工芸の体験」という方向が合っている。
- ・食に特化したグルメスペースとしてはどうか。
- ・ビジネスには利便性が高いエリア。県内企業が展示会等で使用する多目的ホールは、多少値上げしても必要
- ・レストランと連動して、食にまつわる工芸品や地酒を販売するとよい。

#### ② 銀座店

- ・現在のイトインは狭く、逃している客が多い。
- ・銀座は多様な人が集まり、買い物を楽しむ独特のエリア。日本橋を含めてアンテナショップも集積しており、立地するメリットは大きい。

#### (3) 運営事業者

- ・福井をよく知っている、福井を愛している事業者運営を任せてはどうか。